

●新造軍艦水雷艇ノ帝國艦艇籍ニ入

ル時期等ノ件

大正三年十一月三十日
官房機密第一四三四號決裁

改正 大正六年第二〇一九號

新造軍艦水雷艇ノ帝國艦艇籍ニ入ル時期等ニ關シ取扱方ニ付去
明治三十六年海總機密第一五八號決裁ノ次第モ有之候處爾後數
年實驗ニ鑑ミ左ノ通改定セラレ可然哉

右仰高裁

一 新造計畫決定セハ艦名ノ御治定ヲ仰クコトトス但シ驅逐艦

水雷艇、潜水艇ハ海軍大臣命名シ之ヲ奏上ス

艦艇名ハ達號ヲ以テ之ヲ公示シ同時ニ艦艇類別等級表中ニ加

フルコトトス

二 前號ノ手續終テ海軍大臣ハ該艦艇ノ本籍領守府及定員ヲ假

定シ内令ヲ以テ之ヲ發布ス

三 命名式日(即チ進水ノ日)其ノ本籍及定員ヲ確定シ共ニ内令

ヲ以テ之ヲ發布ス

三ノ二 海軍大臣ハ艦艇要目中機密ニ屬セサル事項ヲ指示シ進

水當日ヲ以テ之ヲ發表セシム

四 進水前後必要ニ應シ艤裝員ヲ置ク

第十三類 艦 船 新造軍艦水雷艇ノ帝國艦艇籍ニ入ル時期等ノ件

〔内令機密〕

艤裝員ノ中首席將校ハ他日該艦艦長又ハ副長、機關官ハ機關
長又ハ分隊長ニ補セラルヘキ擬定ノ者ヲ以テスルヲ例トス

五 工事竣工シ授受濟ノ上ハ直ニ在役艦又ハ第一豫備艦トス

六 進水後工事ノ進行ニ伴ヒ適當ノ時機ニ於テ第三號ノ定員ノ
範圍内ニ於テ乘員表ヲ以テ適當ノ乘員ヲ置キ且完成ニ近ツカ

ハ全定員若ハ適當ノ乘員ヲ置クヲ例トス何レモ内令ヲ以テ之
ヲ發布スルコトトス

七 艤裝員タリシ者ハ前號ノ乘員中ニ加ヘ艤裝員ヲ兼ネシムル
ヲ例トス

八 排水量千噸未滿ノ軍艦並驅逐艦水雷艇及潜水艇ハ必スシモ

第六號ニ依リ未成艦タル間之ニ乘員ヲ置クヲ要セス

九 外國ニ於テ假組立ヲ爲シ内國ニ於テ更ニ本組立ヲ爲スモノ
ニ關シテハ内國ニ於テ新造スルモノニ同シ

十 外國ニ於テ製造スル軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇ニハ第三號
乃至第八號ヲ適用セス後發者任命前ニ定員表ヲ確定シ同時ニ
全定員又ハ適當ノ委員ヲ置ク旨内令ヲ發スルコトトシ本邦ヘ
回著ノ際之ヲ在役艦又ハ第一豫備艦トス場合ニ依リ受領以後
必要ニ應シ在役艦トスルコトアリ

十一 内外國私立造船所ニ命シ製造スル軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇ノ本籍ヲ確定スルコトハ第三號ニ依ラス授受結了ノ日ニ於テス

但シ其ノ定員ハ場合ニ依リ授受結了ノ日以前ニ於テ之ヲ確定スルコトアリ

十二 既成ノ軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇ヲ購入スルトキハ第十號及第十一號ヲ準用ス

十三 本籍ヲ定メラレタル旨ノ内令發布ノ日ハ即チ該軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇カ帝國軍艦籍ニ入リタル日ナリ但シ艦名ヲ艦艇類別等級表中ニ加ヘラレタル日ヨリ之ヲ帝國軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇トシテ取扱フモノトス

十四 軍艦驅逐艦水雷艇及潜水艇ノ本籍確定セサル以前ニ乗員ヲ置カレタルトキハ特務士官准士官及下士卒ハ假定本籍鎮守府ヨリ之ヲ補充シ其ノ艦長又ハ首席將校以下ハ本艦艇ノ假定セラレタル本籍鎮守府司令長官ノ麾下ニ屬スルコトトス